

新たな中間処理施設の施設整備について

整備組合では、会津若松市神指町にある廃棄物処理施設が老朽化してきたことから、新たな施設の整備に向けた事務を進めています。

整備に係る計画策定については、廃棄物処理の専門家や住民の方々の意見を反映して参ります。

平成27年2月に施設整備基本計画検討委員会を設置し、第1回の委員会を開催しましたので内容について公表いたします。

第1回『中間処理施設整備に係る施設整備基本計画検討委員会』

日 時 平成27年 2月16日 (月)

場 所 環境センター 会議室 (2階)

【議 事 録 要 旨】

○ 検討委員会の開催に先立ち、各委員に委嘱状が交付されました。

1. 検討委員会設置の趣旨について確認されました。

(趣旨)

・当該検討委員会は、新たな中間処理施設整備に係る基本計画を策定するにあたり、「処理システム」・「配置計画」・「環境保全」・「景観計画」・「運営形態」・「余熱利用」等に関する事項について検討し、管理者に報告するものとする。

2. 委員長及び副委員長が選出されました。

委 員 長：公益社団法人全国都市清掃会議 技術部長 荒井喜久雄

副委員長：一般社団法人国際環境研究協会 工学博士 安田憲二

3. 議事 (以下の◎印は、委員からの意見反映によるものです。)

(1) 中間処理施設整備に対する基本コンセプトの内容が確認されました。

- ・環境にやさしい施設
- ・減量化及び再資源化の推進
- ・発電等の熱回収による余熱利用
- ・建築物等は景観に配慮し、周辺環境と調和した計画
- ・建設費及び維持管理費を含めた全体的な費用の縮減

(2) 施設整備に係るスケジュールが確認されました。

・現在の敷地に、新たなし尿処理施設を建替えし、現在のし尿処理施設を解体して、その跡地にごみ焼却処理施設を建替えする「スクラップ&ビルド方式」により進める。

◎ 環境影響評価の調査について

・環境影響評価の調査項目は大気、水質、騒音、振動等について進めるが、調査範囲については、方法書の段階で協議する。

・新たな中間処理施設の稼働目標年度

施設名	稼働目標年度
し尿処理施設 (有機性廃棄物リサイクル推進施設)	平成31年度
ごみ焼却処理施設 (エネルギー回収型廃棄物処理施設)	平成34年度
ごみ破碎処理施設・リサイクルセンター (マテリアルリサイクル推進施設)	平成39年度

(3) 検討委員会のスケジュールが確認されました。

・平成27年度までに検討委員会を6回開催し、新たな施設の「施設規模」・「処理方式」・「熱回収」・「公害防止基準」・「配置計画」・「景観」・「運営形態」について検討を進める。

◎ 環境影響評価等について

・し尿処理施設の生活環境影響調査については、調査を踏まえて委員会で協議するが、ごみ焼却処理施設の環境影響評価の結果については、委員会の開催期間後になるので、公表するとともに、お知らせする。

・環境影響評価の実施に際して、施設規模については、今後のごみ搬入量の推移で変動することも考えられるが、処理方式・公害防止基準については委員会での検討結果に基づいて進める。

会津若松地方広域市町村圏整備組合

中間処理施設整備に係る施設整備基本計画検討委員会 名簿

所 属 等	役 職 等	氏 名
ふかがわ 深川地区	区 長	さげ でんえい 佐瀬 傳英
かじやしき 鍛冶屋敷地区	顧 問	あらいけ みのる 荒池 実
まくのうち 幕内地区	南四合改善組合 組合長	さげ かずあき 佐瀬 和明
ふかがわきた 深川北地区	区 長	かげやま よしとも 影山 良智
ふつかまち 二日町地区	区長代理	こだか みのる 小鷹 実
会津若松市区長会	城西地区区長会 地区副会長	いしだ みのる 石田 実
公 募	会津若松市	おがわ ひろあき 小川 洋正
公 募	会津美里町	まなべ けいこ 眞鍋 恵子
公益社団法人 全国都市清掃会議	技術部長	あらい きくお 荒井 喜久雄
一般社団法人 国際環境研究協会	環境研究総合推進費 プログラムオフィサー 工学博士	やすだ けんじ 安田 憲二
国立大学法人福島大学	共生システム理工学類 教授	ひぐち よしゆき 樋口 良之
福島県会津地方振興局	県民環境部 副部長	こいけ よしひろ 小池 由浩
会津若松市	廃棄物対策課 課長	やまぐち くにひろ 山口 城弘